

奈良県王寺町 王寺南中学校「防災研修」開催報告

- 1 日時：平成23年6月19日（日） 13時30分～14時30分
- 2 場所：奈良県王寺町立王寺南中学校 体育館
- 3 講師：NPO法人都市災害に備える技術者の会（神戸防災技術者の会）
神戸防災技術者の会（神戸市交通局高速鉄道部長）
（陪席）NPO法人都市災害に備える技術者の会
（陪席）NPO法人都市災害に備える技術者の会
- 4 対象者：王寺南中学校1～3年生全員 約175名と保護者10名
校長先生他担任 20名
- 5 題名：～阪神・淡路そして東日本大震災の様子を聞き、地震への備えを学ぶ会～
- 6 内容：
 - 1）「震度7」その瞬間は（2つの大震災の共通点と異なる点）
 - 2）建物はなぜ倒れたか
 - 3）道路や橋、水道も潰れた
 - 4）その時の市民生活は、そして友達の生活は
 - 5）液状化の実験
 - 6）減災のためのキーワード
自助・共助・公助

7 質問と回答

Q：生徒や保護者からの質問がなかったので、校長先生から質問があった。

震災から学んだ事をもう少し詳しく聞かせて欲しい。

A：①日頃から地震に対して備えておくことが大切である。

- ・家具やテレビなどの倒れ止め
- ・非常持ち出し袋の準備
- ・風呂の水は残しておく
- ・災害伝言ダイヤルのかけ方を練習しておく
- ・非常食・水などの備蓄（最低3日分）
- ・寝室にスリッパを備えておく他

②近所の人との付き合いを良くしておくことが大切である。

非常時には助け合いが必要となる。自分一人では限られている。

③阪神・淡路大震災の場合、仮設住宅の入居者は見知らぬ人たちの集合体となった。

心のケアの問題が発生したが、仮設住宅の周辺に住んでいた被災者でないもともとの住人が、温かく迎えてくれたので何とか凌げた。

困った時の助け合いの精神を持つことが大切である。



校長先生の挨拶



熱心にメモを取る生徒達



液状化の再現実験



講演に聞き入る生徒達

8 防災研修終了後の校長室でのミニ反省会

①本日の防災研修を終えて、校長先生の意にかなったものでしたか。

本日の講義内容が、事前に貰ったレジュメのみでは予想できなかったが、もう一度機会があれば、今度は『地震が発生した時にすべきこと』、『避難所などで中学生達が役に立つどのような事をしたかを聞き、君達も十分役に立つことができるのだ』という事を話して頂き、自信を持たせたい。

②家庭科の時間に「防災」に関する授業がなされていると聞いたが。

家庭科の時間に限らず、理科、技術、社会など各科で授業はあるが、その科の側面からの授業であり、そのものずばりの授業がない。

③本日勉強した事を家に帰り親と話し合う事を生徒に念を推す。

我々の出前授業の目的の一つに、子供に対する啓蒙もあるが、親に対する啓蒙もある。親に直接お話をするよりも、子供を通して話を伝えるという効果も期待している。

④一部の生徒は一昨年王寺小学校の5年生の時この話は聞いている。

※王寺小学校の校区の生徒は王寺中学校へ進学するものと思っており、王寺南中学校へ進学するという認識はなかったが、逆に2度殆ど同じ話を聞いてもらい、一層理解が高められたと思っている。

(以上)